

入札参加者 各位

7営設第2451号
令和7年11月28日

福岡県建築都市部営繕設備課長

新福岡県立美術館新築工事設計図書に関する質疑回答書

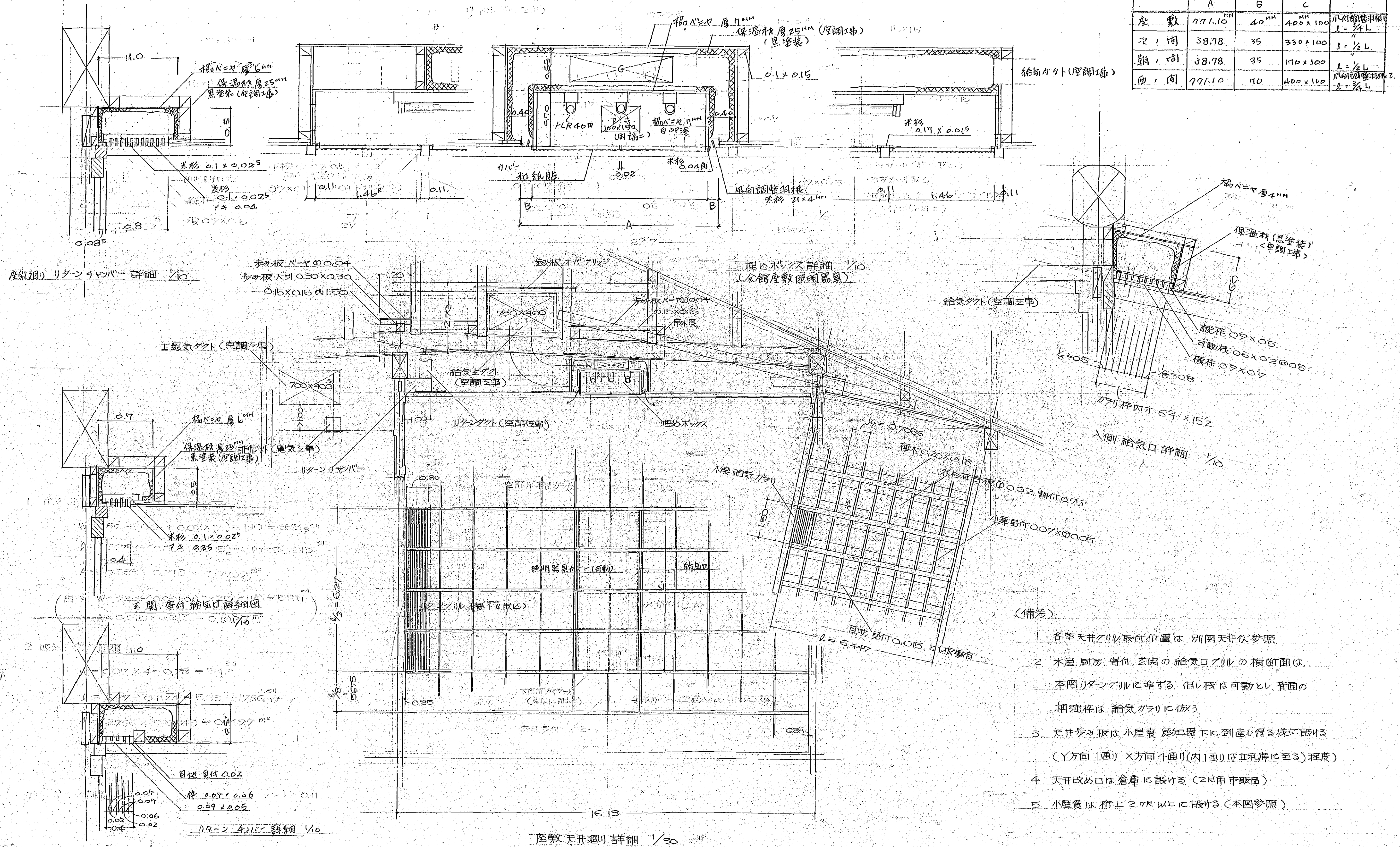
NO	図面番号	質 疑	回 答
1	設計図書 A-310	天井伏図が不鮮明のためガリのサイズが不明瞭です。それぞれのガリのサイズを御指示下さい。	別紙(詳細図31)をご参照ください。
2	設計図書 A-304	土間(X1-X2通り)・立札席において、撤去・新設する地覆石のサイズ・範囲を御指示下さい。	巾5寸×3寸の長さ15mと考えてください。
3	設計図書 A-304・306	立札席において、内部仕上表/備考に「ベンチ・椅子(2脚)の畳表替え」と記載されておりますが、ベンチは改修平面図より6帖分(特寸)と考えて宜しいでしょうか。また椅子(2脚)の畳のサイズも併せて御指示下さい。	よろしいです。椅子は450角程度と考えてください。
4	設計図書 A-304・306	機械室に耐震補強新設がありますが、内部仕上が不明です。壁仕上はGB-Rt12.5 素地と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	グラスウールt50+遮音シート+GB-Rt12.5素地と考えてください。
5	設計図書 A-304・306	厨房の壁仕上がラフトンジュク吹付になっておりますが、耐火補強の付け柱側(合板面)の壁下地は、既存柱側と同じラスボードt7.5+ラスモルタル金ゴテt65.5と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
6	設計図書 A-304・306	勝手口に耐震補強新設がありますが、内部仕上が不明です。壁仕上は厨房に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
7	設計図書 A-325	男子・女子便所において、茶会館便所 改修リストに「床下地(ALC)の更新」と記載されておりますが、撤去・新設する範囲は既存床タイル撤去と同じ青斜線の範囲と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	よろしいです。
8	設計図書 A-325	男子・女子便所において、改修後の床特殊左官仕上はALC面に直接施工すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
9	設計図書 A-325・326	男子・女子便所及び路地便所において、床特殊左官仕上の厚みはt20と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
10	設計図書 A-325	男子・女子便所において、耐震補強部分に巾木新設が必要と思われませんが、既存と同じ石巾木H60と考えて宜しいでしょうか。またその場合、石種・厚み・仕様を御指示下さい。	工事監理者と協議の上、現場にて必要と判断される場合に検討いたします。入札時はないものとして扱ってください。
11	設計図書 A-325	男子・女子便所において、下記項目の仕様・詳細を御指示下さい。 ○洗面カウンター ○間接照明付化粧鏡	A-326の手洗いカウンター断面図をご参照ください。 参考メーカーにつきましてはございませんので、適宜選定してください。
12	設計図書 A-325	男子・女子便所のトイレースは撤去・新設ではなく、既存のトイレースに竹練り付けを施工すると考えて宜しいでしょうか。また間仕切撤去がありますので、トイレースの仮撤去が必要と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	撤去・新設として考えてください。
13	設計図書 A-325	踏込において、耐震補強部分に新設する巾木は、木製巾木 H60+浸透性木材保護塗料と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
14	設計図書 A-325	踏込において、便所詳細図(1)/踏込南面に開口枠の様な表しがありますが、WD24の木枠兼用になるのでしょうか。新規に木枠が必要な場合、仕様・仕上を御指示下さい。	木枠兼用ですので新規木枠は不要です。
15	設計図書 A-326	路地便所において、大便器撤去後の床の塞ぎ要領を御指示下さい。	周囲と同等の下地補修を施し、特殊左官仕上げとする。
16	設計図書 A-304	下記項目の仕様・メーカー・品番を御指示下さい。 ○床 敷瓦(平張り) ○床 敷瓦(四半敷き) ○天井 米杉桎敷目張 ○床、壁 特殊左官仕上 ○壁 京聚楽水捏ね塗 ○壁 ラフトンジュラク吹付 ○壁 湊紙 ○壁 西/内紙	適宜選定してください。

(註)
埋込ボックスの建具は建具表外

	A	B	C	
座 敷	771.10	40	400 x 100	1/4 L
次, 間	38.78	35	330 x 100	1/2 L
箱, 間	38.78	35	110 x 100	1/2 L
向, 間	771.10	110	400 x 100	1/4 L



- (備考)
1. 各室天井グリル取付位置は、別図天井伏参照
 2. 木屋、厨房、寄付、玄關の給気口グリルの横断面は、本図リターングリルに準ずる。但し、柵は可動とし、背面の柵強棒は、給気グリルに倣う。
 3. 天井柵み板は、小屋裏、足知器下に到達し得る様に設ける。(Y方向1通り、X方向4通り(内1通りは立戸扉に至る)程度)
 4. 天井改め口は、倉庫に設ける。(2尺巾巾取品)
 5. 小屋裏は、桁上2.7尺以上に設ける(本図参照)

工事名称 福岡県立茶道会館(仮称) 新築工事	工事場所 福岡市中央区大濠公園内	設計者 設計者氏名 一級建築士(京都府)3358号 大倉三郎	事務所名及び所在地 京都市左京区下鴨森本町15番地 (財)生研建築科学研究所内 財団法人 京都伝統建築技術協会 一級建築士事務所	図面名称 詳細図 8-2 茶室会館棟	縮尺 1:30 1:10 日付	担当者 係長 補佐 課長	図面番号 31
------------------------------	---------------------	--------------------------------------	--	--------------------------	-----------------------	-----------------------	------------